

[02_02]情報処理教育広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/6766149>

出版情報：情報処理教育広報. 2 (2), 1980-02. Educational Center For Information Processing,
Kyushu University

バージョン：

権利関係：



情報処理教育

Vol. 2 No.2

1979

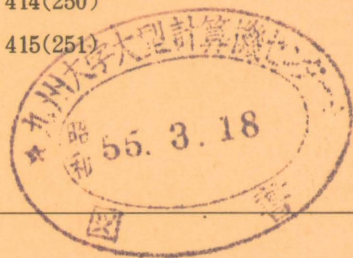
広報

目次

巻頭言	林 健志	165(1)
開発研究		
計算機の構造と動作理解援助用シミュレータSIM960		
..... 樽美和幸, 宇津宮孝一, 荒牧重登		166(2)
解説		
APL利用法	赤司房子, 宇津宮孝一	242(78)
I 基本編—ACOS-6 APL文法, 使用法—		
II 応用編—ACOS-6 APLライブラリの利用—		
資料		
TSS LISP使用法	荒牧 重登	380(216)
報告		
センター建物について.....	吉田 将, 宇津宮孝一	407(248)
センターより		
TSSコマンドについて		412(248)
運営委員の交替について.....		413(249)
54年度前期運営報告.....		413(249)
54年度後期の運用について.....		414(250)
編集後記		415(251)

九州大学情報処理教育センター

Educational Center For Information Processing, Kyushu University



○ 参照箇所の記法

本号記事の中で、他の部分を参照して欲しい場合には、“(→ x m, …)”のように表す。
xは記号の標題(省略時は同一標題の他の箇所を表す)などの略字、mは節や項目番号、…は複数箇所を意味する。

x : 例えば、マニ (マニュアル) を表す。

m : 節などは1.4, 項目番号などは10, (5), ③, 一連の節や項目番号は1.4~1.7, 10~15
のように表す。mを省略するとx全体の参照を意味する。

○ 項目指定の記法

本号記事の中で、コマンドなどの項目を指定する場合には、特に断らない限り次の記法を用いる。
・大カッコ ({ }) は選択項目で、その中の一つを必ず指定する。

$\left\{ \begin{array}{c} a \\ b \\ \vdots \\ z \end{array} \right\}$ の z のように下線が引かれた項目は、省略時にこの値がとられることを意味する。

・角カッコ ([]) は、指定してもしなくてもよい項目を表す。

・日本語または英小文字は、必要なもので置き換える。

・英大文字や特殊文字はそのとおりに書く。

・反復記号 (…) は繰返しを意味する。

・a b x x x または、a x x b x は、a b x x x または a x x b x を a b と省略して書けることを意味する。